

# 平成27年度 新潟市秋葉区文化会館 事業報告書

No.	区分	企画	会場	内容	入場者数	時期
1	鑑賞	開館2周年記念ライブ レ・フレール スペシャルコンサート	ホール	開館2周年記念ライブと冠がかった事業となり、ピアノデュオ「レ・フレール」の全国のファンクラブ会員を中心に県外の来館者など開館以来最も多い全国的なコンサートとなった。ファンクラブ会員リードのもと拍手のタイミング、リなど地元鑑賞者も一体となって楽しんだ。スタンディングオベーションに気をよくされた出演者もアンコール曲を2曲披露されるなど会場は大いに盛り上がった。	464人	平成27年9月21日(月・祝)
2	鑑賞	「もけら もけら」ワークショップvol.2 「からだをつかってみよう！」	ホール 練習室1	天才ジャズ・ピアニストの山下洋輔氏とモダンアートの鬼才・元永定正氏のセッションから生まれた傑作絵本の『もけら もけら』を題材に、カサノボー晃氏に身体パフォーマンスを使いながら絵本の世界を創作する。絵と文字の世界から身体的表現と音をつけることで言葉や文字が身体的表現でより一層鮮明になる。文字につけられた音にはじけるように身体が反応する。カサノボー晃さんの動きに参加者も身体で表現することを覚悟していく。その様子を鑑賞者は創作のプロセスとして捉える。仕上げの即興パフォーマンスでは鑑賞者から拍手が出ていたことは創作イメージが共有できたということでもあり、一定の成果はあった。	参加者37人 一般観覧者 53人	平成27年9月6日(日)
3	鑑賞	長月あきは寄席 桂米團治独演会 (ワークショップ付)	ホール 練習室1	人間国宝の故桂米朝師匠の長男・桂米團治師匠があきは寄席に登場。ところが笑点メンバーのようにテレビの露出度が高くはなく、チケット販売に苦労した。そんな中でも、鑑賞された方々の評価は抜群で、次回があるとなれば「お見逃しなく」という言葉がびったり。米團治師匠クラスでも販促の難しさを痛感した事業。米團治師匠は高座の他、踊りを披露されるなど、観客を魅了した。また、落語に親しんでいただく、三遊亭楽大さん、三遊亭好吉さんによるワークショップを開催した。ワークショップは落語の小道具の説明など、落語世界への入門編となった。	288人	平成27年9月27日(日)
4	鑑賞	5才になったらホールに行こう！Vol.3 人形劇『あやとじろきちとオオカミ』『タマゴ』	ホール	新潟市民に、一生に一度は秋葉区文化会館に足を運んでいただくこと、幼少期に保護者と上質な音楽体験の場を提供することを目的とした取組み。今年度は人形劇ブークによって楽しいひと時を味わっていただいた。人形劇の性格から1会場あたり200人が適度な鑑賞人数規模。当館としては毎年480人に招待をしている企画で、1回あたり240人を確保し、招待者総数は同じとした。プロ劇団だけあって、人形劇そのものの素晴らしさ、演目内容の楽しさ、ユニークさを味わっていただいた。	473人	平成27年9月5日(土)
5	鑑賞	秋葉区の里山を知り、未来へつなげよう	ホール	秋葉区の里山に関する取組事例紹介、写真家・今森光彦氏による「里山を楽しむ」を演題とした講演会の他、エントランスロビーでは里山に関するパネル展、石油の世界館による資料展示や模型展を同時開催し、多数の集客へとつながった。	234人	平成28年3月20日(日)
6	鑑賞	茂山逸平「お豆腐狂言」	ホール	茂山逸平さんのプレトークで幕開けの公演は「狂言はこんなお芝居です」から始まった。わかりやすい解説の後、「附子」と「蝸牛」の二題を実演していただいた。非常にわかりやすいと好評。面白くわかりやすい演目で初めてのお客様を魅了した。アフタートークでは館長の司会で逸平さんや茂山家の魅力を更に引き出し語っていただいた。狂言という古典芸能への入門編は大いに盛り上がった。	324人	平成27年11月15日(日)
7	鑑賞	吉田千秋100年物語	ホール	加藤登紀子さんがカバーし大ヒットした「琵琶湖周航の歌」は、秋葉区出身の吉田千秋が作曲した「ひつじぐさ」が原曲。雑誌『音楽界』に発表され、ちょうど100年。第一部は記念式典を、第二部は岡田知之パーカッションアンサンブルの記念コンサートで故人を忍んだ。千秋の業績を後世に伝えるためパーカッションのアレンジによる『ひつじぐさ』なども披露され一般鑑賞者、関係者を大いに魅了した。	436人	平成27年7月12日(日)
8	鑑賞	神保彰ワンマンオーケストラコンサート 2015	ホール	カリスマ的なドラマーの神保彰さんがドラムクリニックを開催するという事で、ドラム歴1年未満から30年を超えるベテランまで参加。ステージ上に椅子を並べ、真後ろから、真横から神保さんの演奏が見られるとあって独特の雰囲気の中クリニックが行われ質疑も活発に行われた。コンサートは前評判通り高いレベルの技量に終始圧倒されたコンサートとなった。	216人	平成27年10月25日(日)
9	鑑賞	第2回うたとおどりと郷土芸能の祭典	ホール	60団体の参加によって行われた祭典は、民謡・民舞、新舞踊、津軽三味線など手際の良い出演者入れ替えで観客を飽きさせなかった。出演者・演目が多いため午前から午後にかけてかなり長い公演というスタイルとなった。	468人	平成27年4月29日(水・祝)
10	普及	レセプション養成講座 全5回	ホール	秋葉区文化会館ならではのスタッフを養成することを狙いに他館でも実施している「レセプション」養成にとどまらず、来館されたお客様をおもてなしの心でおもてなしをする「オモテナリスト」養成へと発展させた。講座は①館長(全体構成とオモテナリストとは)②元NHKアナウンサーの小柳さんによるアナウンス、オモテナリストの話言葉③①および②の実践④当館らしく「花でおもてなし」の講座を県立植物園副園長の倉重氏が務め、最後は芸人の母心さんに新ネタのひとつにオモテナシを入れていただき公演していただいた。	受講生23人 母心ライブ 入場者数 119人	平成27年9月11日(金) 平成27年9月13日(日) 平成27年10月4日(日) 平成27年10月31日(土) 平成27年12月26日(土)
11	普及	～市民アーティストコラボレーションvol.7 ～ジャズワンコインコンサート	ホール	新潟JAZZストリートの開催は新潟市中央区が中心で、秋葉区在住のミュージシャンも参加している。秋葉区でもJAZZには根強いファンがいることから本公演を企画した。サクソ奏者の長沢さんはその世界では有名な方で、選曲もステイビー・ワンダーの名曲をカバーするなどJAZZファンのみならず、JAZZ初心者へのハードもとらえた。	458人	平成27年6月27日(土)
12	普及	～市民アーティストコラボレーションvol.8 ～弦楽四重奏アンサンブル・オペリーワン コインコンサート	ホール	新潟市を中心に活動する音楽家を発掘し、秋葉区民に安価な料金で最良の音楽を提供するため、オープニングに出演していただき好評だったアンサンブル・オペリーの弦楽四重奏を企画した。地元で活躍されているためチケットも早々に完売。ステージでは夏休みということもあり、楽器に触れるコーナーを設けていただくなど演奏以外にも充実した内容となった。	451人	平成27年8月1日(土)
13	普及	～市民アーティストコラボレーションvol.9 ～フルート・ピアノ・打楽器で味わう 世界 の音楽紀行ワンコインコンサート	ホール	ワンコインコンサートとしては、初の平日の夜間開催。勤め帰りのサラリーマン、OLが気軽にコンサートに参加できる都会型演奏会を実現。これまで土・日・祝日の開催のみでその日にお仕事のある方々のリクエストに応えることができなかった。今回売上率75%という記録で、平日開催の実績を残した。コンサートではフルート演奏やパーカッションの魅力をいかに発揮できたコンサートとなった。	342人	平成27年11月20日(金)
14	普及	～市民アーティストコラボレーション vol.10～ミュージカルワンコインコンサート	ホール	昨年度に続き、ワンコインに劇団四季の元メンバーが登場。前日の練習には、未来の市民アーティストとして秋葉区民6名(小中学生)がミュージカルナンバーのレッスンを受け、本番に備えた。劇団四季の元メンバーによるミュージカルロングラントップ10をテーマに聴衆を魅了した。	414人	平成28年3月21日(月・振替 休日)
15	普及	[アウトリーチ①] 学校鑑賞教室	新関小学校 小合小学校	新関小学校には落語家の三流亭楽々さんが、小学生向きには初の体験といいながらも、低学年にもわかりやすく解説したうえで、本題の落語を披露。さらには南京玉簾を演じ子供たちの拍手を誘った。小合小学校にはヴァイオリニストの加藤礼子さんが出向き、ヴァイオリンの構造から子供たちとの合奏まで最終ヴァイオリンの世界へ誘った。	新関85人 小合14人 計99人	平成27年12月1日(火) 平成28年2月19日(金)
16	普及	[アウトリーチ②] 学校鑑賞教室	小合中学校 小須戸中学校	N響の打楽器奏者として活躍した岡田知之氏が立ち上げた「岡田知之のパーカッションアンサンブル」による出前講座。高い演奏技術と、親しみやすいナビゲートとパフォーマンスで年間200を超える学校の公演を重ねているだけに、小合、小須戸両中学校での出前講座は中学生を虜にした。	のべ170人	平成27年7月13日(月)
17	普及	秋葉の舞台で遊ぼう！公演vol.2 ～うたとあきはの民話劇～	ホール	①秋葉(新津)の民話(2話)を素材に、民話劇2題(=子ども中心の民話劇と大人中心の民話劇)を脚本化。それぞれ実行委員会の方が背景を制作したり曲や振りつけをしたり前年度よりかなり進化した。②小合唱の会の皆さんに「ひつじぐさ」「琵琶湖周航の歌」を披露していただいた。③合唱では新潟薬科大合唱部、新大合唱部にも参加していただき「コーラス里山の風」と命名し新たなスタートを切った。いずれも大好評であり練習の成果が十分発揮できた舞台となった。	480人	平成27年12月20日(日)
18	普及	りゅーとびあアウトリーチ事業第2期登録 アーティスト ジョイント・コンサート	ホール	フルート、ピアノ、ソプラノなどりゅーとびあの若手アーティストが熱演をふるった。新しい風を吹き込むこの催し物は、地元出身のアーティストを他者に先駆けて知ること、聴くことができる貴重な公演で、アーティストも力が入るし、観る方も手ごころな値段で良質かつ新鮮な音楽に触れることができた。	236人	平成28年3月6日(日)
19	普及	APRICOT演劇体験ワークショップ	ホール	りゅーとびあの演劇スタジオAPRICOTが、他館に出向きワークショップから即興劇を披露するまでを事業とした。参加者は秋葉区の子供たちが多く参加し、こうした機会の少ない当館、当地域にとっては貴重な事業で、参加者はとても満足との声が多かった。	参加者15人 WS観覧者 17人	平成28年1月17日(日)
20	創造	レジデンス合唱団「フォリエ」定期演奏 会2016	ホール	月3回の練習のうち、1回は彌勒忠史先生の指導で1年間練習した。その成果を1月24日に第2回フォリエ定期コンサートという形で披露した。今年は1,000円の入場料を頂く有料コンサート。当日は大雪に見舞われたこと、複数の団員が数日前からインフルエンザで出演不可能、また当日も出演不可能の連絡がある中での開催となった。彌勒先生はリハの時間もあつ時台には到着、雪の中、300人には至らなかったが多くの人が鑑賞に来られた。前年度よりもスキルアップしたと多くのお褒めをいただき無事終演となった。	団員53人 定期演奏会 入場者数 284人	平成28年1月24日(日)
21	交流	秋葉をカメラにさめよう！！街中探検隊	練習室1 スタジオ 野外	秋葉区に拠点を置き活躍されている写真クラブ代表の風間源一郎氏に昨年同様講師をお願いし、参加者もほぼ3年目の方という構成。1回目は座学でカメラ講座、2回目は県立植物園で撮影会の後、撮影した写真を元に展示用に編集する作業を学んだ。3回目は紅葉の中野邸美術館のみみじ園を撮影した。撮影した写真はパネル展示し広く来館者に披露した。	33人	平成27年6月28日(日) 平成27年7月4日(土) 平成27年11月8日(日)
22	交流	「青少年育成事業」子ども記者になろう！！	練習室1 野外	1回目に新聞とは何かや記事の書き方を学び、2回目は(株)総合車両製作所の協力により同社工場を取材した。3回目は3つのグループに分かれ記事を執筆した。成果物は「秋葉区文化会館こども新聞」として5,000部を印刷し、県内の公共施設に配布した。	51人	平成27年8月3日(月) 平成27年8月4日(火) 平成27年8月7日(金)
21	交流	[花作りプロジェクト] 市民ガーデンを作ろう！！	館外 練習室1	通年事業としてはプランターによる季節毎の植栽、水やりなどボランティアの方に支えられた。また、会館内ではエントランスロビーのグリーンボックス内への鉢植えによる装飾も年2回実施し、花で癒す空間を醸し出した。また、ホワイエではイベント時の花による装飾もボランティアの方々によって実現した。2月には本間氏による「クリスマスローズの育て方」講座を実施した。	登録ボランティア 6人 講座受講者 13人	通年 本間氏の講座 2月7日(日)
22	交流	[文化活動者交流] アーティスト交流会	練習室1	当館アーティストアーカイブス登録者11名3団体に呼びかけ、アーティスト間の情報交流の場として意見交換会を行うとともに、新年度の4月16日に開催が決定しているラ・フォル・ジュルネ新潟2016のプレ公演開催を受けて、地元アーティストによる記念イベントを実施できないか模索した。アーティストからはアフターでも協力できることがあれば協力しようという意見が一致した。今後アーティストの日程を確認しゴールデンウィーク前後に無料コンサートを実施する。	6人	平成28年1月29日(金)
23	交流	展示	ロビー	7月12日には、吉田千秋100年物語が開催されたのを機に、吉田千秋にちなむ展示を実施。また、里山に関する講演では、石油の世界館の模型展示等イベントに合わせた展示も目立った。	—	通年